



黒澤哲郎

1976年茨城県に生まれ、両親と共に東京に移り住む。ギター製作家の父を持ち、幼い頃から工房の空気を吸い、同じギター製作家になることを夢見る。7歳の時からピアノ、13歳からはギターを始め、多数のギタリストに出会い助言を受ける。工芸高校アートクラフト科を卒業後、父・澄雄のもとに入門し、基本と名工の楽器を身をもって知ると同時に、A・デ・トーレス (Antonio de Torres) やサントス・エルナンデス (Santos Hernandez) 等の音色に感銘をうける。1997年スペインに渡り、マドリードのテサーノス (Mariano Tezanos)、ペレス (Teodoro Pérez) 先生方の工房にて、未だ経験したことのない風土的背景を表現する製作、音づくりを目的の当たりにし、以降、師から学んだ考え方から製作研究の基盤を組み替え直す。翌年には、アントニオ・マリーン (Antonio Marin) 先生の工房で塗装を学び、それらすべての経験を現在の楽器製作に注ぎ込み、日々研鑽につとめる。

Tetsuo Kurosawa

I was born in Ibaraki prefecture and raised in Tokyo by my parents. My father was a guitar maker. Being exposed to the atmosphere of his studio at a young age, my dream was to become a guitar maker like my father. Because I started playing the piano at 7 and the guitar at 13, I met many guitarists and received a lot of advice from them. After graduating from an industrial arts high school (arts and crafts studies), I became a pupil of my father, Sumio, and got to know the basics and the instruments of skillful workmen. At the same time I was deeply impressed by the rich tone of Antonio de Torres or Santos Hernandez. In 1997, I worked in the studio of maestro Tezanos and Pe'rez in Madrid and saw the way they express the sounds of regional and climatic backgrounds which I had never experienced before with my own eyes. Ever since then, I have rebuilt the base of my guitar make on the basis of what I learnt from the maestros. In 1998, I learned varnishing in the studio of maestro Antonio Marin. I utilize all of the knowledge gained from these experiences in my present guitar making and am still learning everyday.

発売元

株式会社 **S.I.E.**
STRING INSTRUMENT EXPERT

〒171-0043 東京都豊島区要町2-4-8 3F
TEL 03-5965-6333 (代) FAX 03-5965-6334
URL <https://www.siejapan.com>
3F, 2-4-8 Kaname-cho, Toshima-ku, Tokyo, Japan

製作 **黒澤哲郎**
Tetsuo Kurosawa

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-6-10
TEL & FAX 03-3969-5113
3-6-10 Maeno-cho, Itabashi-ku, Tokyo, Japan

特約店

※仕様は予告なく変更になる場合があります。

Tetsuo Kurosawa
Constructor De Guitarras

手工ギター 黒澤哲郎

2023.1

Tetsuo Kurosawa

スペインの伝統的製法で作られる黒澤哲郎ギター。尊敬すべきマエストロ達の、風土背景を表現する製法は常に黒澤のバックボーンとなり基盤となっている。そのギターに合った理想の音色を追い求め、モデルによって設計や塗装を、黒澤の感性で選択。一本、一本のギターと“対話”することでポテンシャルを引き出し、至高の逸品となる。



沖仁 Jin Oki

使用楽器 沖仁モデル

ギター作家は、伝統を受け継ぎ守る一方で、日々切磋琢磨を重ねて挑戦を続けている。彼のギターを弾いていて、そんな当たり前のことに今更ながら気付かされた。研究と斬新な発想を元に、マイナーチェンジを積み重ねてきた黒澤哲郎／沖仁モデルは、音質と演奏性、かき鳴らしのしやすさと単音弾きの存在感、日本人の手に合うサイズながらパワフルなボリュームといった、相反する難しいテーマを見事にクリアーしている。このギターは、日本から発信するフラメンコギターの可能性を更新し続けていると思う。



松田 弦 Gen Matsuda

使用楽器 マヌエル・ラミレスモデル ラ・パトローナ、ディナスティア

哲郎さんの楽器は弾いている時に、語りかけるような音色。-ピアノからフォルテ、柔らかさ、明瞭さ、深さ、明るさ-など様々な欲求に応えてくれ、今ではメインギターとして二本とも愛用しています。まずマヌエル・ラミレスモデルは操作性が高く、とても弾きやすいのが魅力。柔らかな音色で音量があり、色々な表情を持つこのギターは多方面の現場にてマッチします。ディナスティアは音抜けが抜群で、古典的な響きを残しながら、ラティス構造による新しい響きも感じられる渾身のモデル。これから大きな会場でも活躍しそうです。伝統を受け継ぎながらも常に新しい事にチャレンジしている哲郎さん、かっこいいです。



笹久保 伸 Shin Sasakubo

使用楽器

マヌエル・ラミレスモデル ラ・パトローナ

黒澤哲郎さんのマヌエル・ラミレスモデル(松、ハカランダ)2015年製を使用させていただいています。この楽器は美しく、奏者の心をつかみます。私にとって良い楽器というのは、奏者にインスピレーションを与え演奏や日々の練習をサポートしてくれることです。黒澤さんの楽器には奏者をインスパイアする力があります。音色には透明感があり、音の分離も綺麗で、全体的な音質と音量のバランスも申し分なく、生音で演奏するホールでも気持ちよく響きます。古典音楽から現代音楽、他ジャンルにも対応し、PAを入れた環境でも音のノリが良く、レコーディングにも愛用しています。



熊谷 俊之 Toshiyuki Kumagai

使用楽器 ディナスティア

黒澤哲郎氏の最新モデル“ディナスティア”は明瞭な高音と、立ち上がりの良さが際立っています。高音域においても柔らかい音は失われず、透き通るような響きは心地が良いです。“ディナスティア”は大音量を獲得できるラティス構造であり、さらには奏者の繊細な要求にも応えてくれる理想的なモデルと言えるでしょう。ボディやネックの触り心地も日本人の体型にマッチしており左手や背中にもストレスを感じません。楽器としての調和がとれているせいなのか、弾き始めてからの成長が驚異的です。ヘッドの装飾やモザイクも美しく、弾くごとに満たされるオススメの一本。

Modelo Original

オリジナルモデル

スペインから様々なインスピレーションを受け、デザインや設計を構築。伝統的な製法を重んじ組み上げるオリジナルモデルは、各器種によって表情、スタイル、塗装などが異なり、細部にまで黒澤のこだわりが感じられる。新しい試みも積極的に取り入れ、頑固な職人氣質の一方、対比するその柔軟性が、温かみのある至高の逸品を生みだしている。

Dinastía

ディナステシア

¥1,100,000 (税抜価格 ¥1,000,000)

「新しい時代へ変革を齎し、時代の一部分に残せれば」と願いを込めて名付けられた“Dinastia”。ヘッドはアルハンブラ宮殿のムカルナスから影響を受け、ロゼッタ、パーフレミングも古典的な風貌を取り入れている。バランスを重視した音作りは、独自のラティス構造により音の粒を綺麗に引き出し、コンサートギターとしての音量も獲得した渾身のモデル。

表板=厳選されたスプルースまたはシダー
 横・裏=最高級ハカランダまたはマダガスカルローズウッド
 指板=最高級アフリカンエボニー
 糸巻=黒澤哲郎オリジナル糸巻
 Top=Spruce or Cedar
 Sides & Back=Jacaranda or Madagascar Rosewood
 Finger Board=African Ebony
 Machine Heads=Tetsuo Kurosawa Original Machine Heads



熊谷俊之



ディナステシア



Estándard

エスタンダルド

¥440,000 (税抜価格 ¥400,000)



表板=スプルースまたはシダー
 横・裏=インディアンローズウッド
 指板=アフリカンエボニー
 糸巻=GOTOH 35G1600
 Top=Spruce or Cedar
 Sides & Back=Indian Rosewood
 Finger Board=African Ebony
 Machine Heads=GOTOH 35G1600



Flamenco

フラメンコ

ブランカ ¥550,000 (税抜価格 ¥500,000)

ネグラ ¥440,000 (税抜価格 ¥400,000)



表板=スプルース
 横・裏=シーブレスまたはインディアンローズウッド
 指板=アフリカンエボニー
 糸巻=GOTOH 35G1600
 Top=Spruce
 Sides & Back=Cypress or Indian Rosewood
 Finger Board=African Ebony
 Machine Heads=GOTOH 35G1600



Especial

エスぺシャル

¥770,000 (税抜価格 ¥700,000)



表板=スプルースまたはシダー
 横・裏=マダガスカルローズウッド
 指板=アフリカンエボニー
 糸巻=GOTOH 510K-KM
 Top=Spruce or Cedar
 Sides & Back=Madagascar Rosewood
 Finger Board=African Ebony
 Machine Heads=GOTOH 510K-KM

Modelo Jin Oki

沖仁モデル

Modelo Jin Oki

Blanca

ブランカ

¥715,000 (税抜価格 ¥650,000)

14 Cruces ブランカ

¥935,000 (税抜価格 ¥850,000)

表板=スプルース
横・裏板=シープレス
指板=アフリカンエボニー
塗装=セラック 糸巻=PERONA (Ping Well)
Top=Spruce / Sides & Back=Cypress
Finger Board=African Ebony
Machine Heads=PERONA (Ping Well)

Modelo Jin Oki

Negra

ネグラ

¥715,000 (税抜価格 ¥650,000)

14 Cruces ネグラ

¥935,000 (税抜価格 ¥850,000)

表板=スプルース
横・裏板=マダガスカルローズウッド
指板=アフリカンエボニー
塗装=(表板)セラック、(横裏)カンユー
糸巻=PERONA (Ping Well)
Top=Spruce
Sides & Back=Madagascar Rosewood
Finger Board=African Ebony
Machine Heads=PERONA (Ping Well)



MESSAGE from JIN OKI

レイズドフィンガーボード、ラティス構造といった最新仕様によって、BlancaとNegraは新しい楽器に生まれ変わった。2本のモデルを弾き比べして気付いたのは、それぞれに決して優劣をつけられるものではなく、むしろ表裏一体なのだという。乾いて切れ味の良いBlancaと、潤いとふくよかさを備えたNegra。互いに違う要素を補い合い、決してぶつかることなく、2本が揃って完全体になる。音楽を奏するために生まれた黒澤・沖仁モデルのBlancaとNegraは、今僕らを新しい地平に連れて行ってくれる。

※Blanca=日本では“白”と呼ばれ、横裏材にシープレスなどを使用。
※Negra=通称“黒”は、横裏材にローズウッド系を使用したモデル。

沖仁



ブランカ



ネグラ

Blanca

世界が認める フラメンコギタリスト沖仁 監修のもと共同開発。このモデルのテーマは“伝統と新鋭の調和”。スペインギターの製法を踏襲しつつ、新たな試みをスパイスのように加えており、操作性、音色、デザイン、あらゆるバランスを意識し融合させている。沖仁が求める楽器を、互いの感性で追求し続ける現在進行形のモデル。



※ブランカはバラ、ネグラはヒナゲシの装飾になります。

Manuel Ramirez

マヌエル・ラミレスモデル

Modelo Manuel Ramirez

La infanta

ラインファンタ

¥495,000 (税抜価格 ¥450,000)

表板=スプルースまたはシダー
横・裏板=インディアンローズウッド
指板=アフリカンエボニー
糸巻=GOTOH 35G1600
Top=Spruce or Cedar
Sides & Back=Indian Rosewood
Finger Board=African Ebony
Machine Heads=GOTOH 35G1600

Modelo Manuel Ramirez

La patrona

ラパトローナ

¥825,000 (税抜価格 ¥750,000)

表板=スプルースまたはシダー
横・裏板=マダガスカルローズウッド
指板=アフリカンエボニー
糸巻=PERONA (Ping Well)
Top=Spruce or Cedar
Sides&Back=Madagascar Rosewood
Finger Board=African Ebony
Machine Heads=PERONA (Ping Well)



松田 弦



ラパトローナ
(杉)

笹久保 伸



ラパトローナ
(松)

1912年に製作された巨匠マヌエル・ラミレスを研究、ベースにし、銘器の持っている安定した太い音色、しっかりと美しい高音を追求したモデル。オリジナルのデザインに近づけたスペインギター史を漂わせる風貌は、マドリッド派を代表する巨匠達の面影を感じさせる。しかしながら随所に黒澤テイストが感じられ、このモデルでしか出し得ない音色に仕上がっている。

